

株式会社 ダンレイ 技術部	Danke	承認	審査	作成
		宮田 25.12.25	関 25.11.18	小松 25.11.18
作成年月日 2006年3月16日	製品仕様書			

名 称 : 温水機器用逃し弁
 型 式 : SE2510LA(SE-101)
 組立図面 : SE2510LA0000A1

接続	管 接 続 端	入 口 : ねじ込み形 R 1
		出 口 : ねじ込み形 R c 1
機能	作 動 方 式	昇 圧 式
	受 圧 方 式	デ ィ ス ク 式
材質	主 要 部 材 質	弁 箱 : C A C 4 0 6
		ガ イ ド : C A C 4 0 6
		デ ィ ス ク : E P D M
使用条件	流 体	水 道 水
	流 体 温 度	0 ~ 1 1 0 ° C 以下 (ただし、凍結のないこと)
	雰 囲 気 温 度	- 2 0 ~ 6 0 ° C (ただし、流体の凍結のないこと)
	取 付 姿 勢	水 平 ・ 垂 直 (ただし、出口側を水平より上に向けないこと)
性	吹 き 始 め 圧 力	△ 9 2 ± 8 k P a
	吹 き 止 り 圧 力	△ 8 3 k P a 以上
	弁 箱 耐 圧 性 能	水 圧 検 査 : 一 次 側 1 . 7 5 M P a 、 1 分 間 加 圧
能	耐 寒 性 能	再 通 水 後 、 水 が 吹 き 出 す こと
	耐 久 性 能	1 0 万 回 作 動 し た 後 、 上 記 全 項 目 を 満 足 す る こと
	浸 出 性 能	J I S B 8 4 1 4 に 示 す 判 定 基 準 に 適 合 す る こと

取り扱い上の注意事項
 (1) 取り付ける際は、逆向きに取り付けないよう、注意して下さい。
 (2) 配管施工時において、配管内に切削油・異物などが混入しないよう、十分に注意してください。
 (3) 凍結破損しないよう保温などの処置をしてください。
 (4) 手動レバーを月に1~2回操作し、水が吹き出すことを確認してください。
 また、初期及び長期保管した場合は使用前に手動レバーを1~2回操作してから使用してください。
 (5) 調節ねじを動かすと作動圧力が変わるので動かさないでください。
 (6) 配管内の水抜きを行う時は手動レバーを立てて弁開状態を保持して排水してください。
 配管内の水抜き後、手動レバーを元に戻してください。
 (7) 逃し弁の取付位置は減圧弁より高い位置に取り付けてください。
 (8) 寒冷地で使用する場合は、ホッパー配管に必ずホッパーなどを取り付けてください。
 (9) 逃し弁出口側配管またはホースにおいて、手動レバー操作時にサيفون現象によって排水が止まらなくなる場合があります。この場合は、逃し弁出口側配管またはホースの途中に大気開放部(ホッパー等)を設けて下さい。
 (10) 落下品は作動圧力が変動している恐れがありますので、使用しないでください。
 (11) 製品を機器に組み込んだ状態でのご使用状況につきましては、弊社での予見が困難です。品質・性能・安全性を十分に御確認された上でご使用ください。

備考	1. 製造年月は、調節ねじの上面に略号を捺印	△ ²	25. 11. 18	設変No.74-023
		△ ²	17. 12. 20	設変No.66-083(フォーム改訂)
		△ ¹	11. 07. 12	設変No.59-060 (型式コード削除, 浸出性能変更)
		改訂番号	改訂日	改訂内容